EXCITEBIKE 64 エキサイトバイク

モード満載のこのゲーム。今月は、懐かしのファミコン版がそのまま収録されている『元祖エキサイトバイク』を紹介だ!

◎NINTENDO 64◎

タイトル	エキサイトバイク64
発売元	任天堂
発売日	6月23日より発売中
価格	6800円
ジャンル	レース
プレイ人数	1〜4人用
備考	振動パック対応
備考	コントローラパック対応

全ての基本は『元祖』にあり!

このゲームは、左右方向のコーナリングに加え、通常のレースゲームにはない、上下方向の「ジャンプ操作」も加わる。そのため、慣れないうちは難易度の低い「ビギナーシーズン」でも、なかなか優勝できないかもしれない。上達するためには、バイク操作を一通り学べる「トレーニング」モードで練習を重ねるのが基本。でも、『元祖エキサイトバイク』には、「両輪同時に着地」「ジャンプ距離の調整」といった、本編にも通用するテクニックが満載で、練習に最適なのだ。そこで今月は『元祖エキサイトバイク』3つの基本テクニックと、各コース(トラック)の攻略ポイントを紹介しよう。

◆ファミコン版の『エキサイトバイク』は、1984年11月30日に5500円で発売され、かなりのヒットを記録した

◆転倒してしまったら、ボタンを連打すると早く復帰できるのは、『エキサイトバイク64』も『元祖』も同じだ

両輪同時に着地

ある程度高くジャンプすれば、両輪同時に着地するのはそれほど難しくない。でも、あまり高く飛びすぎると、滞空時間が長くなってタイムをロスしてしまうので、必要最低限の高さで飛ぶのが肝心だ。ジャンプ中は、なるべく重心を前に移動して距離を稼ぎ、着地直前に態勢を整えるといいぞ。

ジャンプ距離の調整

スピードが落ちにくい平地か下り坂を狙って着地するために、ジャンプ距離の調整は欠かせない。つまり、本編のキモと言えるほど重要なテクニックだ。この『元祖』では、ジャンプ台に差し掛かったら、後ろ側に一瞬だけ重心をかけて高く飛び、すぐに重心を前に戻して着地態勢に入るのが基本。

ターボの使い方

着地をバッチリ決めても、普通は少しスピードが落ちてしまうもの。着地した後はすぐにターボをかけてスピードを回復し、タイムロスを少なくしよう。普段から無闇にターボをかけていると、TEMPメーターが上がって肝心な時に使えなくなるので、ターボは加速用と割り切って使うといいぞ。

◆平地に着地すると、どうしてもスピードが落ちる。すぐにターボをかけて加速し、スピードを回復しよう

◆着地直前にバイクの態勢を整えるのがベスト。平地よりも下り坂に着地した方が、よりスピードは落ちにくいのだ

◆『元祖』はジャンプしたあとに重心を前にかけると遠くへ飛べる。後ろにかけたままだと失速するので注意しよう

◆ジャンプ台がない長い直線を走る時は、ターボをかけずにAボタンだけで走り、TEMPメーターを低く抑えよう

◆オーバーヒートすると、およそ5秒ほどタイムロスしてしまう。TEMPメーターが下がる矢印マークを必ず踏もう

『元祖エキサイトバイク』トラック攻略ガイド

TRACK#1

BEST：1.24.00
3RD：1.32.00

最初のトラックだけに、ジャンプ台が少なくカンタンだから、速く・遠く・確実に飛べるように練習しよう。トラック終盤にある、なだらかなジャンプ台が6つ連続する地点は、両輪で着地するための格好の練習材料だ。ここは3回にジャンプを分けるのがオススメ。1・3・5個目のジャンプ台を、ターボをかけながら飛び、2・4・6個目の下り坂に両輪で着地すれば、スピードを全く落とさずに抜けられ、「3RDタイム」クリアで次のトラックに進めるぞ。

◆トラック後半にある、連続ジャンプ地点。画面の左端にある三角形のジャンプ台は、簡単に遠くへ飛べるので、一気にクリアしてしまおう

◆ここはトラック終盤の、大きくなだらかな6連続ジャンプ。2つまとめてジャンプすると、スピードを落とさずにクリアできる

TRACK#2

BEST：1.22.00
3RD：1.30.00

スタート直後から、高くて大きなジャンプ台が出現する、ちょっと難しいトラックだ。このジャンプ台の途中で転倒すると、大きくタイムロスをしてしまう。ここを確実に越えるためには、重心を後ろにかけて高くゆっくりと飛び、頂上に着地して、そのまま坂を勢いよく下りるといいぞ。このジャンプ台は2回越えることになるけど、そこでミスをしなければ、次のトラックへと進める基準である、「3RDタイム」は楽にクリアできるはずだ。

◆序盤にある大きなジャンプ台は転倒しやすい。いったん頂上に着地してから、そのまま下って勢いを付けると確実だぞ

◆中盤にある、トラックが途切れた地点。前輪だけで着地すると、大きくバウンドするので、速度を落とさず抜けられる

TRACK#3

BEST：1.10.00
3RD：1.18.00

突起や不揃いなジャンプ台が設置されている、かなり難易度の高いトラックだ。序盤にある突起は、一瞬だけ重心を後ろにかける「ウイリー」で抜けるのが基本だけど、タイミングが難しい。より確実にクリアを目指すなら、素直に突起を避けて走った方がいいぞ。トラック後半は、形状が不揃いのジャンプ台が連続する。ここではターボで勢いをつけてジャンプする必要があるから、平地でのターボは控えて、TEMPメーターを無駄に上げないでおこう。

◆序盤は細かい突起が連続する。ウイリーで抜けると思わぬミスが起こりがちなので、上下に移動して抜けた方が無難だ

◆トラック後半は、形の揃わないジャンプ台が連続するので難しい。基本的には2個ずつ飛び越えて行くといいだろう

TRACK#4

BEST：1.20.00
3RD：1.28.00

全体的なトラックの難易度は低めだけど、トラック後半には、尖ったジャンプ台が連続する地点がある。ここは転倒の名所とも言える難関なのだ。一気に飛び超えようとせず、わざと重心を大きく後ろにかけて、速度を落とした高いジャンプをして、途中でいったん確実に着地すると、結果的に速く抜けられるぞ。ちなみに、いくら速度が落ちてるとはいえ、着地する際にバイクの態勢を整えないと、転倒してしまうので注意しよう。

◆トラック内に2ヶ所、このジャンプ台が設置されている。手前からぬかるみを越えてジャンプした方が簡単だぞ

◆突起状のジャンプ台が連続する地点。ここは一気に越えにくいので、いったん確実に着地した方が安全だ

TRACK#5

BEST：1:24:00
3RD：1:32:00

最終トラックだけあって、全トラック中の最難関。着地地点をよく考えてジャンプしないと、「3RDタイム」をクリアすることすら難しい。ジャンプ台の数そのものが多いので、オーバーヒートしやすく、平地では一切ターボを使わず、ジャンプ前と着地後のみに限定した方がいいぞ。いかに速度を落とさずに、次々とジャンプできるかがクリアのカギだ。ちなみにクリアすると、より厳しいタイムで、このトラックに再度チャレンジすることになるのだ。

◆トラック序盤から、小さなジャンプ台が5つ連続する。ここも一気に越えられないので、2回に分けて通り抜けよう

◆トラック終盤は最難関。2つ目のなだらかなジャンプ台で、下り坂に着地できるかどうかがクリアの分かれ目だ